

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

成瀬高校に元バスケットボール選手 原田 裕花さんが来校！

11月10日（土）オリンピック・パラリンピック教育推進事業として、元バスケットボール選手である

原田裕花さんの講演会が行われました。原田さんは、日本代表キャプテンを務め、二度の膝の大きな怪我から復活し、アトランタオリンピックに出場、女子バスケットボール7位入賞に大きく貢献された方です。その自らの体験を、自身の幼少期から紹介しながら、オリンピック予選の動画等交え、お話しして下さいました。社会人になってからの大きな怪我からどのように復活したのか、また、キャプテンとして考えたこと等、高校時代に培った「苦しい時こそ笑顔」での精神を持って、前向きに考え、夢を持つことやチャレンジをすることの大切さを教えて下さいました。



↑花束を持っている原田さん（左）と宮田校長

質問コーナーでは、女子バスケットボール部の生徒が、試合直前でやっておくことや、キャプテンとしてどのようにチームをまとめるか等、積極的に発言していました。自分たちの活動に大いに参考になる言葉を頂けました。





最後はみんなで集合写真です。色紙にサインも頂きました。企画室前に飾らせていただきました。

貴重なお話をありがとうございました。以下、生徒たちの感想の一部です。

- ・キャプテンとして仲間から信頼されることは大事だから、小さな事でも丁寧に、誰よりも真剣に取り組んでいこうと思う。
- ・オリンピックに対してとても興味を持ちました。今回の話を聞いて、自分からオリンピックの事に触れていこうと思った。
- ・自分には今、あきらめないことが重要だと気付かせてくれた。今後は、学校生活、特に勉強や部活をあきらめずに全力で取り組もうと思った。
- ・「苦しい時こそ笑顔で」というのは、部活でも言われているが、いざ苦しくなると笑顔が消えてしまうので、気持ちを落とさないためにも忘れないようにしたい。今よりもっと強くなれるよう、部活を頑張ろうと思った。
- ・今回の話を聞いて、自分の進路や目標を叶えるには、難しかったとしても、その夢を追い続けてそれに向けて行動することが大切だとわかった。
- ・何かを達成できるか、できないかという結果ではなく、何かを達成するためにチャレンジすることが重要で、その過程で得るものがさらに重要で結果に結びつくのだと思いました。何事も結果が全てではないと思うので、あきらめずにチャレンジして、その過程で得るものを大切に、自分を磨いて成長したいと思います。